

いい汗！ 快汗！ ふれあいと健康

HAPPY スポーツ

障がい者スポーツとの関わり

「障がい者スポーツ」ってなに…？

初めてこの言葉を耳にする人は同じ様な反応をするかと思います。障がい者スポーツは読んで字のごとく、障がいをもった方が行うスポーツですが、「誰もが楽しめるスポーツ」と言いかえるとよりわかりやすいかもしれません。

障がい者スポーツは身体に障がいをもった方の機能回復訓練として始まり、現在では、障がいのある方の自発的(嗜好的・競技的)なスポーツへと変化してきました。

また昨今、スポーツ基本法の制定に伴い、新たに障がい者スポーツについて地域での振興が必要となりました。

スポーツ推進委員は地域におけるスポーツ推進の担い手として、実際に障がい者スポーツに触れ、みて体験し、その経験を地域に還元していくことが求められています。今後、私たちは障がい者スポーツを「特別なスポーツ」ではないという認識のもと、地域に広げていく事が大切だと思います。

加古川市は市民のスポーツ活動が盛んで、スポーツクラブ等も充実していますので、上手くコミュニティを形成できれば、そこから、健常者と障がい者の交流にも広がり、地域のスポーツ環境の整備、ノーマライゼーションに繋がると考えます。

土島 史大 委員

↓ ディスゲッター



↓ シットイングバレーボール



↓ 室内ベタンク



スポーツ推進委員 研修会に参加して

4月8日、西宮市総合福祉センター課長 宮城 新 様をお招きして、「一緒にしよう！！ 障がい者スポーツ！！」～障がい者スポーツ指導員32年の思いを込めて～と題してご講話いただきました。

障がい者スポーツは、近年、パラリンピックが注目されるようになり、誰もが知るスポーツになってきた反面、競技やルール、用具についてまだまだ知られていないことがたくさんあります。

今回の講話で、『障がい者スポーツ』が生涯スポーツとなり、みんなのスポーツとして普及し、『あ・た・り・ま・え』となるような社会になることが障がい者スポーツの普及と理解に繋がっていくものだと感じました。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、加古川市スポーツ推進委員は、市民の皆様に障がい者スポーツを広められるよう、今後とも取り組んでいきたいと思います。

安茂 聖二 委員



第11回兵庫県障がい者のじぎくスポーツ大会に参加して



～フライングディスク競技にスタッフとして参加しました～

5月20日、雲一つない真夏のような空の下、450名の参加者と150名のスタッフで開催されました。

年々参加者が増加し、陸上競技に次ぎ2番目に多く注目されています。「フライングディスク」という言葉は馴染みが少ないと思いますが、「フリスビー」と言えば分かる方も多いと思います。プラスチック製の円盤を投げるスポーツで、ルールがとても簡単なので知的障がい者のためのスポーツとして取り組みやすい利点があり、「ナイスゴール！」とみんなで元気な声を出して、「入った！」という喜びを味わいながら楽しむことができます。

障害の程度、有無に関係なく老若男女誰でも気軽にできるフライングディスクの楽しさを発信していきたいです。

花房 智子 委員

鳩里クラブで6月からフライングディスクの活動を開始

～ NPO法人加古川総合スポーツクラブ 加古川エリア ～

☆☆ 何枚入るかな ☆☆

フライングディスクは、ゴールの輪に向かって10枚円盤を投げて入る枚数を競う「アキュラシー」と、距離を競う「ディスタンス」の2種類があります。

真っ直ぐに飛ばすちょっとしたコツを知ることによって楽しさも倍増しますので、みんなで一緒に楽しめるスポーツです。ぜひ体験してください！



日 時：毎月第1・3土曜日 9時30分～12時

場 所：鳩里小学校体育館 参加：スポーツクラブへ入会

「近畿スポーツ推進委員功労者表彰を受賞して」

このたび、平成29年2月3日(金)～4日(土)の2日間、和歌山県那智勝浦町で平成28年度近畿スポーツ推進委員研究協議会が開催され、その席で功労者表彰をいただきました。

この受賞も諸先輩方や推進委員の方々、そして各イベント等にご参加していただいた市民の皆様との出会いがあったお陰で、今日まで楽しく活動が続けられたものと感謝しております。

今後は、自身の健康維持に努めながらスポーツを楽しみ、多くの方との出会いを楽しみにし、微力ながら市民の皆様にはスポーツの楽しさを発信していきたいと思っております。ありがとうございました。



山脇 栄一 委員



よろしくお願いします！

このたび、加古川市スポーツ推進委員として、仲間入りをさせていただくこととなりました飯島健太郎です。

学生時代は部活動でハンドボール、バスケットボールに取り組んできました。大学に進学してからは、スイミングのインストラクターをしていました。微力ではありますが、スポーツを通して、体を動かすことや人と関わり合うことの‘楽しさ’を、一人でも多くの方に伝えていけたらと思っています。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。



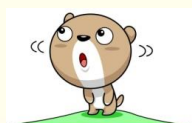
スポーツの「出前講座」やってまーす！

私たち加古川市スポーツ推進委員は、市民の体力向上を目的として、町内会や公民館事業、PTAや少年団、サークル、同好会など様々な団体からスポーツの依頼があれば、出向いて講座（指導・紹介）をおこなっています。



スポーツ研修や体験行事などをお考えの方は、ぜひ下記の連絡先までお問い合わせください。種目や日程等の詳細は、ご相談させていただきます。

※ **ピンクのポロシャツ**が目印！



【連絡先】 加古川市教育委員会
社会教育・スポーツ振興課
(TEL: 427-9292)



No Limit ～ 限りなき挑戦 ～

エピソード「カメラ片手に走る男 ～ “記録” よりも “記憶” ～」

日本有数のカルスト台地である北九州市の国定公園「平尾台」があります。この「平尾台」周辺で4月16日に開催されたトレイルランニング大会（40km）に参加してきました。

今回、私が伝えたいのは、自然環境の素晴らしさと個性豊かなボランティアスタッフの方々。南北2km東西4kmにもおよぶ広大な羊群原（ようぐんばる）と呼ばれる石灰岩地帯の景観は、圧巻の一言でした。コース脇に生息する貴重な草花や、地下の鍾乳洞に繋がるすり鉢状の窪み（ドリネ）を幾つも見る事ができ、レースを忘れてついつい足を止めてしまいます。また、これら自然環境を傷めないために選手がコースからはみ出さないよう注意を促すことや、コース上のマーキングは最小限に設置。更に参加賞として、前大会のエイドステーションで使ったコップをリサイクルした‘写真立て’が配られるなど、主催者の‘環境’に対する配慮がうかがえます。



続いて、地元のボランティアスタッフで特筆すべきは「山中にて、大きなホウ貝を吹いて応援して下さい方」、「折り返し地点のエイドステーションでの餅つき大会（笑）しかもそのつきたてのお餅をレース中に振舞ってくださる!？」、「アコーディオンを弾きながら大声で唄うスタッフ♪」など、個性豊かな応援スタイルに感動しました。今回は、“記録” よりも “記憶” のためにカメラ片手で走った私。ここ平尾台は、そんな私のスタイルにぴったりのレースでした。皆さんも機会がありましたら、是非一度、平尾台を訪れてみてください！

※ レース結果は、DKN(脱水・痙攣・捻挫)で、4時間27分(23位)でした。。(。_。)

天野 順二 委員

加古川市スポーツライフセミナー

スポーツの楽しさや健康づくりの大切さを体験できる『スポーツライフセミナー』は今年で11年目を迎えます。今年度は下記のとおり初心者コースとして計6回通して行いますので、皆さんぜひご参加ください！

◆◇ 初心者コース ◇◇			
日 時		場 所	内 容
① 7月 4日(火)	19:00 ～ 20:30	加古川市立日岡山体育館	ラジオ体操・バスケットボール
② 7月 11日(火)			バドミントン・ファミリーバドミントン
③ 7月 25日(火)			ソフトバレーボール・シットイングバレーボール
④ 8月 1日(火)			太極拳
⑤ 8月 22日(火)			卓球・アジャタ
⑥ 8月 29日(火)			体力測定

参加費
無料

問合・申込先・・・加古川市教育委員会 社会教育・スポーツ振興課（TEL：427-9292）

発行元 ■加古川市スポーツ推進委員会 加古川市教育委員会 社会教育・スポーツ振興課内

TEL：079-427-9292